

第10回包装近未来シンポジウム (オンライン配信)

— 世界の包装の動きと日本の進むべき道 —

- 開催日：令和5年3月14日(火)
- 主催：公益社団法人日本包装技術協会

【包装近未来シンポジウムの参加申し込み方法について】

JPIホームページ (URL : <https://www.jpi.or.jp/>) より参加登録をお願いします。

Zoom を利用したオンライン配信となります。

お申込みの方に、事前登録等の手続きをメールでご案内します。

開催要領

- 日時：令和5年3月14日(火) 13:00~16:30

※Zoomを利用したオンラインセミナー形式
申込者に事前登録の手順をメールで連絡します

1名分参加費	会員	会員 (3名同時申込1名あたり)	一般
本体	16,000円	14,000円	23,000円
消費税10%	1,600円	1,400円	2,300円
税込合計	17,600円	15,400円	25,300円

- 定員：100名

お問い合わせ先

公益社団法人日本包装技術協会
包装近未来シンポジウム係 担当：竹内
〒104-0045
東京都中央区築地4-1-1 東劇ビル10F
TEL:03(3543)1189/FAX:03(3543)8970
e-mail: takeuchi@jpi.or.jp

【個人情報の取り扱いについて】

1. 個人情報は「包装近未来シンポジウム」の事業実施に関わる資料等の作成、並びに当協会が主催・実施する各事業におけるサービスの提供や事業のご案内のために利用させていただきます。なお、作成資料は開催当日、関係者に限り配布する場合があります。
2. 参加申込みによりご提供いただいた個人情報は、法令に基づく場合などを除き、第三者に開示・提供することはありません。

参加申込方法と注意事項

【参加申込方法】

■本催しは「Zoomウェビナー」を利用したオンライン配信となります。

お申し込みは当会ホームページのシンポジウム参加申込ページよりご登録いただくようお願いします。
当会ホームページURL : <https://www.jpi.or.jp/>

■参加申込者には**参加用URL、参加方法、参加までの手順、注意事項**をお知らせしますので、確認の上参加の準備を進めて下さい。(登録後、事前の参加手続きが必要ですのでご注意ください。)

■申し込みされた方には後日参加料請求書をお送りします。

■申込者1名のみ本催しに参加できます。1つのメールアドレスで1人しか参加できません。

【注意事項】

- ①「Zoomウェビナー」を利用したオンライン配信となりますのでご利用の端末へのZoomアプリケーションのインストールおよびインターネット接続が必要となります。
- ②接続回線の状況により視聴しにくい場合があります。通信費・接続利用料金等は自己負担となります。
- ③本シンポジウムの内容について、録画・録音・キャプチャー取得によるデータ保存行為を固く禁止します。
- ④申し込みの際**メールアドレスの入力が間違っていると案内メールをお送り出来ません**のでご注意ください。
- ⑤開催3日前からのキャンセルによる参加費のご返金はできませんのでご注意ください。

プログラム

時間	テーマ
13:00—13:40	講演① 「サステナブル/サーキュラー・パッケージデザイン：世界の包装産業の今」
	世界包装機構—WPOは60を超える各国代表組織・機関と連携し、サステナブル/サーキュラーパッケージデザインの最新情報に関して情報提供を行っている。WPOのサステナビリティおよびセーフフード担当副会長として、世界の包装産業の現状と課題、そしてその取り組みについて紹介する。
	講演者
	WPO(世界包装機構) 副会長 ネリダ・ケルトン 氏

時間	テーマ
13:45—14:25	講演② 「サーキュラーエコノミー実現に向けたブロックチェーン技術の活用」
	サーキュラーエコノミーでは、原材料を製品化しその製品を利用した後にリサイクルを行い再度製品化するため、原材料・製品に関する情報は正しく透明性が高い必要がある。一方、ブロックチェーンは高い改ざん耐性を持ち透明性が高い仕組みである。このブロックチェーンの特性をサーキュラーエコノミーにどう活用するかについて紹介する。加えて、EYが保有するブロックチェーンの特許と、ブロックチェーンを用いて環境問題等を解決するReFi (Regenerative Finance、再生金融) についても紹介する。
	講演者
	EYストラテジー・アンド・コンサルティング株式会社 ストラテジックインパクトユニット パートナー ブロックチェーン・FinTech・食の未来創造支援オフィスリーダー 一般社団法人日本ブロックチェーン協会 アドバイザー・渉外室長 荻生 泰之 氏

企画委員

本シンポジウムは下記企画委員の皆様のご協力により開催しております。

- 後藤 敏彦 氏 特定非営利活動法人 サステナビリティ日本フォーラム 代表理事
- 住本 充弘 氏 住本技術士事務所 所長
- 森 泰正 氏 株式会社 パッケージング・ストラテジー・ジャパン 取締役社長

時 間	テ ー マ
14:30—15:10	講演③ 「カーボンニュートラルの実現にむけて —パッケージにおけるライフサイクル視点の環境負荷把握と情報の流れ—」
	社会全体で取り組むべき「環境問題」。生活に身近なパッケージにも環境配慮が求められている。 DNPIは1997年よりLCAを導入し、パッケージ環境配慮設計の指標として活用してきた。 これまで培ったノウハウを活かし、2022年度よりDNPライフサイクルCO ₂ 認証システムをリリースし、パッケージ由来のCO ₂ 排出量を提示するサービスを開始した。 カーボンニュートラルの実現に向けて、「GREEN PACKAGING」とLCAの活用およびわたしたちの挑戦についてご紹介する。
	講 演 者
	大日本印刷株式会社 Lifeデザイン事業部 イノベティブパッケージングセンター ビジネスデザイン本部 環境ビジネス推進部 第1グループ リーダー 柴田 あゆみ 氏

時 間	パネルディスカッション
15:20—16:30	—世界の動向を押さえつつ日本の進むべき方向は—
	世界の包装の動向、ブロックチェーンの活用、包装のライフサイクルの考え、CO ₂ 排出量の把握の説明を参考にして、これから進もうとしている循環型パッケージの中にもどのように活かして、今後の日本の包装の進むべき方向にどのように役立てるかを討議する。
	【パネリスト】
	●講演者 ネリダ・ケルトン 氏 WPO(世界包装機構) 副会長 荻 生 泰 之 氏 EYストラテジー・アンド・コンサルティング(株) ストラテジックインパクトユニット パートナー ブロックチェーン・FinTech・食の未来創造支援オフィスリーダー (一社)日本ブロックチェーン協会 アドバイザー兼渉外室長 柴 田 あゆみ 氏 大日本印刷(株) Lifeデザイン事業部 イノベティブパッケージングセンター ビジネスデザイン本部 環境ビジネス推進部 第1グループ リーダー ●企画委員 後 藤 敏 彦 氏 特定非営利活動法人 サステナビリティ日本フォーラム 代表理事 住 本 充 弘 氏 住本技術士事務所 所長 森 泰 正 氏 株式会社 パッケージング・ストラテジー・ジャパン 取締役社長

講師・パネリストの紹介

■Nerida Kelton(ネリダ・ケルトン)氏

世界包装機構(WPO)副会長

オーストラリア包装協会(AIP)エグゼクティブ・ダイレクター

世界包装機構(WPO)サステナビリティ&セーフフード担当副会長

包装業界で25年以上のキャリアを持ち、AIPでは教育指導、人材育成、業界の活性化に20年以上注力している。特に食品ロス削減、セーフフード・パッケージの分野に精通し、包装が果たす役割の重要性について広く世界に発信し続けている。メルボルン大学、フード&パッケージング・イノベーション講師、Fight Food Waste Cooperative Research Centreセーフ・フード・パッケージング・コンソーシアム・プロジェクトのリーダーも務める。

Public Relations Institute of Australia(PRIA)会員

国際包装プレス機構(IPPO)会員

オーストラリアサプライチェーン&ロジスティクス協会
女性初及び最年少の終身会員

2017年環境に配慮したパッケージをDNP環境配慮パッケージングGREEN PACKAGING®として統合。

現部署にて、環境戦略・方針策定や社会課題解決に貢献するビジネス創出を行う。

■後藤 敏彦(ゴトウ トシヒコ)氏 (企画委員)

特定非営利活動法人 サステナビリティ日本フォーラム
代表理事

(特非)サステナビリティ日本フォーラム代表理事、(一社)グローバル・コンパクト・ネットワーク・ジャパン理事、(特非)環境経営学会特別顧問、(特非)日本サステナブル投資フォーラム理事・最高顧問、(一社)レジリエンスジャパン推進協議会理事、(一社)環境パートナーシップ会議理事、(特非)アースウォッチジャパン理事等

ISO/TC207エキスパートや環境省複数委員会の座長・委員などを務めてきた。

東京大学法学部卒

著書多数

■荻生 泰之(オギウ ヤスユキ)氏

EYストラテジー・アンド・コンサルティング株式会社

ストラテジックインパクトユニット パートナー

ブロックチェーン・FinTech・食の未来創造支援オフィス
リーダー

一般社団法人日本ブロックチェーン協会

アドバイザー・渉外室長

事業戦略、マーケティング戦略、営業戦略、オペレーション改革、IT戦略等のコンサルティングに従事し、ブロックチェーン・FinTechの取組におけるリーダー

自由民主党・政務調査会・ デジタル社会推進特別委員会、
ブロックチェーン推進議員連盟に関わり、数々の政策提言
を実施

現在、日本ブロックチェーン協会アドバイザー兼渉外室長、
Crypto Asset Governance Task Force委員、日本情報経済社会推進協会のブロックチェーン標準化委員、日本IT団体連盟情報銀行監査諮問委員、多摩大学ルール形成戦略研究所の客員主任研究員を務める

■柴田 あゆみ(シバタ アユミ)氏

大日本印刷(株) Lifeデザイン事業部 イノベティブ

パッケージングセンター ビジネスデザイン本部

環境ビジネス推進部 第1グループ リーダー

2003年入社。パッケージの開発を行う部署で機能性フィルムの研究に携わった後、植物由来包材バイオマテックの開発・販促やLCAに従事。

■住本 充弘(スミモト ミツヒロ)氏 (企画委員)

住本技術士事務所 所長

2004年1月 大日本印刷(株)を定年退職し、以後コンサルタント活動に入る。

世界の包装展視察や世界の企業の包装コンサルタント活動や国内企業のコンサルタント活動を続けている。

日本技術士会会員、技術士包装物流会会員、日本包装学会会員、日本包装コンサルタント協会会員、日本包装管理士会会員

技術士(経営工学)、包装管理士、業界誌に執筆多数

■森 泰正(モリ ヤスマサ)氏 (企画委員)

株式会社 パッケージング・ストラテジー・ジャパン

取締役社長

1972年~2009年 三井・デュポン ポリケミカル(株)勤務

1988年~1990年 米国デュポン社 パッケージ事業部門に
出向

2009年~2017年 三井物産(株) パッケージング・シニア
アドバイザー

2015年1月 (株)パッケージング・ストラテジー・ジャ
パンを有田氏(現有田技術士事務所 所
長)より承継

現在に至る

海外と日本の最新パッケージング技術の融合を目指す活動
を行っている